

椎葉村消防団が県知事表彰

3月12日、宮崎市の県立芸術劇場で第14回宮崎県消防大会が行われました。同大会には、本村をはじめ県内の各消防関係者が出席。表彰式や消防団員による意見発表、消防団ラッパフェスティバルなどを行いました。

表彰式では、昨年の台風災害で迅速に行動し、村の安全確保のために活躍した椎葉村消防団が、県知事表彰を受けました。本村では、住民の生命と財産を守る重要な組織として期待される消防団。日頃の積極的な消防活動で、多くの方から信頼され続けています。



▲県消防大会へ出席した本村消防関係者の皆さん

自衛隊ヘリ体験搭乗

3月12日、村総合グラウンドでえびの自衛隊主催のヘリコプター体験搭乗が行われました。これは、本村を管轄する同自衛隊第24普通科連隊が、ヘリコプターの体験搭乗を通して、自衛隊が担う役割や任務内容を理解してもらおうと企画したものです。本村の自衛隊父兄会や消防団員など16名が参加し、隊員の説明を受けた後、総合グラウンドを発着する約20分の空の旅を体験しました。

参加者は、自衛隊ヘリが持つ機能性や機動性に感心しながら、改めて椎葉村の広大な面積に驚いていました。



▲自衛隊のヘリに体験搭乗した参加者

子どもたちの交通安全を願って

椎葉村いきいきアドバイザー「サンレディス椎葉」(松岡しとみ代表 会員7人)の皆さんが、マスコット「交通安全帽子」を作りました。3月16日、会員が村教育長のもとを訪れ、村内の児童に届けてほしいと200個を寄贈。新入学児童を含めた村内の児童全員に配布することになりました。

このマスコットは、ゼリーの容器などをリサイクルしたすべて会員の手作りによるものです。同グループは日頃、男女共同参画運動を中心に活動していますが、村の大事な子どもたちが交通事故に遭わないようにと、事故「防止」と「帽子」をかけて、その願いをマスコットに託しました。



▲教育委員会にマスコットを届けた会員の方々

尾向地区モニターツアー

3月19、20日、尾向地区で椎葉の自然と人との交流を楽しむモニターツアーが行われました。これは、椎葉の自然や文化を案内するグループ「大国見会」(尾前誠一代表 会員6人)が主催したもので、県内外から16人が参加しました。

参加者は地元住民の指導のもと、竹細工づくりや椎茸の収穫などを体験。また、夜に行われた交流会では、山菜料理を囲みながら神楽や民謡なども楽しみ、椎葉の魅力を体感しました。大国見会は今回のモニターツアーを通して、椎葉の素晴らしさを発信し、体験型観光の確立を目指しています。



▲自分で作った竹細工に大満足の参加者